



札幌市／T邸 取材・文／三枝史子 撮影／佐々木育弥

料理好きオーナーの 夢を搭載した オーダーメイドキッチン。

多忙な仕事のかたわら若い頃から料理に目覚め、人に振る舞うのも大好きと
いうTさん。昨秋、住まいを新築したの
を機に、これまであたためていた夢を
叶えるべくこだわりのオーダーメイド
キッチンを導入。いま最も注目を集める
「ノルド・リネアタラーラ」と老舗「スズ
ランキッキン」のコラボレーションに
よるオンラインキッキンだ。念願の
「男の城」を手に入れ、ますます料理が
楽しくなったというTさんを訪問した。



ワークトップはかがみ込まずに作業ができるよう90cmと高めに設定。シンクは76cm角の正方形で大きな鍋も置ける広々設計だ。水切り板を敷いて素材の下ごしらえもできる。左手のキャビネットは収納する皿や調理器具のサイズを図り、それに合わせて棚の奥行きや高さを決めた。



ハイエンドなデザインと設備機器で、ストレスなく料理に没頭。

ルージュ・エ・ノアール、赤と黒を基調とするシックなキッチン空間には、オーナー Tさんが長年抱き続けてきた夢と憧れがつまっている。医師として忙しい日々を送る Tさんを料理に向かわせたのは、「おいしいものが食べたい」というモチベーションだ。30歳で行った留学先の米国で洋食文化の洗礼を受け、帰国後もワインとフレンチやイタリアンを楽しむようになつた。好きが高じて、札幌のフレンチレストランが主催する料理教室へ月1で通い、気がつけば15年間プロのシェフから手ほどきを受けることに。「おいしいワインと料理で仲間をもてなすのが楽しいですね。だいたい2週間前から食材を調達し、頭の中はレシピや段取りでいっぱい。そんな時間も含めて好きなんですよ」。

ノルド・リネアタラーラのキッチンを選んだのは、カウンターやキャビネットの面材に使われている素材、FENIXの存在が大きい。知人が経営する賃貸マンションでスズランキッチンを導入していることもあり、そこからノルド・リネアタラーラにつながるのだが、FENIXを見ていつぶんに気に入ったのだという。「マットで上品な質感があり、汚れやキズがつきにくい。キズがついても熱を加えることで復元するといい、こんなにおもしろい素材があるのかと」。落ち着きのあるテクスチャーはキッチン全体に風格を与える、まさに「男の城」というふさわしい印象だ。

た自分仕様のフルオーダーメイドだ。キッチンスペースに合わせてカウンター やキャビネットをジャストサイズで收め、自身の身長に合わせてワークトップの高さや奥行きを設定。シンクも自分が使いやすい正方形に。調理器はドイツの最高級ブランドGAGGENAUのIHヒーターとガスのハイブリッド、ステームオーブンも導入した。冷蔵庫と食洗機は業務用メーカーHOSHIZAKIの大型製品を入れ、来客時の食材ストックと洗い物に備えた。「動線や収納を細かく計算したキッチンのおかげで、ストレスなく料理に集中できます。最新の設備も整つてアイデアもどんどん湧いてくる。時間的ゆとりも多少できるようになつたいま、自分のクッキングステージが持てたことは人生の歓びですね」。



右／ピーツのソースに浮かべたホタテとアワビの料理は、空間のアクセントカラーにもなっている「ルージュ」を意識してつくった一皿。

左／キッチンの一角できれいに重ねたステンレスの鍋も絵になる。壁面はキャビネットと同じ赤でコーディネート。

ワークトップや扉には、最先端ナノテクノシートを採用したFENIX素材を惜しみなく採用。品のあるテクスチャーで指紋や汚れがつきにくく、キッチンを特別な空間に。シンクには、手が汚れていてもストレスなく水が出せるコーラーのタッチレス水栓と、浄水器(左)を設けている。



つくる歓びを体感する、自分仕様のクッキングステージ。



右／IHクッキングヒーターはGAGGENAUの4口タイプ。コントロールノブが側面に付いていることで使いやすいく、Tさんお気に入り。
左／手持ちの銅鍋を使うことも考えてガスコンロも設置した。調理に応じて熱源を使い分けられるのもうれしい。





撮影のために用意してくれたお手製料理の数々。レシピはすべて頭の中にあるといい、フレンチの基本に独自のアレンジを加えるのがTさん流。料理は最高のストレス解消だというTさんにとって、キッチンは人生の歓びを味わうステージなのだ。



シンク背後のスライドイン両開き扉を開けるとHOSHIZAKIの業務用食洗機が控えている。高温洗浄によりわずか数分で洗い上げるのが魅力だ。左側には食洗機に合わせて特注製作した予洗い用のミニシンクも。

冷蔵庫もHOSHIZAKIの業務用を導入。ブラックステンレスを採用した幅120cmの大型サイズはホームパーティでも大活躍。予め冷やしておいたオードブルやデザートをそのまま提供でき、ゲストを待たせることもない。

